

JJ 2A3-40シングルアンプで聴くフランスの音楽 アラカルト

例会：2026年10月11日

担当：穴田幸雄

今回は、スロバキアのメーカーJJエレクトロニクス社が製造している直熱三極真空管2A3-40を使ったシングル構成のメインアンプと最近新しく作製した真空管ラインアンプの組み合わせで、その音質を活かしてロマンチックで叙情性に富んだフランスの音楽を聴いてみたいと思います。

2A3は昔から電蓄などに使われ、初期のオーディオ機器で大活躍した直熱三極管です。2.5Vのヒーター電圧で交流点火でき、比較的低電圧（250V程度）のプレート電圧でシングルで約4Wの出力が可能で、プッシュプルで使うと10～12Wの出力が得られるオーディオ自作派にとっては貴重な現行真空管です。

今回採用した2A3-40はその名称が示すように最大プレート損失が40W（通常の2A3は15W）で300Bと同等の出力（8～10W）が取り出せます。

しかもヒーター電圧は2.5Vなので交流点火が可能で、300Bの様にヒーター電源を直流化する必要が無いので回路がシンプルになり、ヒーターを交流点火できることによる音のメリットもあると云われています。

今回組み合わせるラインアンプはポピュラーな電圧増幅管6SN7GTを方チャネル1本で構成し、600Ωのオーディオ信号の出力用にダイナミックレンジが広いライントランスを採用しています。

ラインアンプは、オーディオ信号のインピーダンスを整え、オーディオ機器とメインアンプの間に入れることにより、音の安定感と豊穡感が増すと言われています。

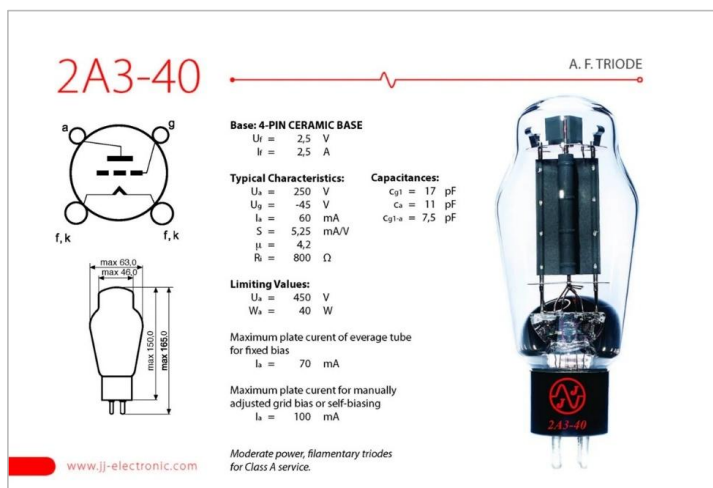
（その分クリアさが減退する面もあり、好みの問題です）



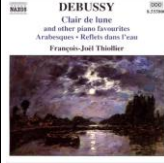
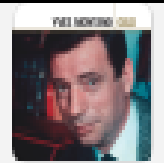
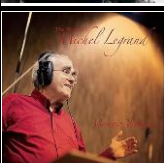
JJ 2A3-40シングルメインアンプ



6SN7GTラインアンプ



演奏曲の紹介

アートワーク	曲名	演奏	アルバム	演奏時間
	Symphonie fantastique Op.14 2.Un bal Louis-Hector Berlioz (1803-1869)	小林研一郎 指揮 ハンガリー国立交響楽団	Berlioz: Symphonie fantastique Op.14 オクタヴィア・レコード	6:53
	ドビュッシー：ベルガマスク組曲～ 月の光 クロード・ドビュッシー	フランソワ・ジョエル・テ イオリエ	ドビュッシー；月の光（ピアノ名 曲集）	5:13
	亡き王女のためのパヴァーヌ, M.19 モーリス・ラヴェル	務川慧悟	ラヴェル；ピアノ作品全集 SMM itaku (music)	6:31
	レクイエム 作品48 VII・天国にて （イン・パラディムス） ガブリエル・フォーレ	国立リヨン管弦楽団&エマ ニユエル・クリヴィヌ	フォーレ；レクイエム，他 日本コロムビア	3:22
	3 Gymnopédies; No.1, Lent et douloureux エリック・サティ	ベルトラン・シャマユ	Satie; Masterpieces	2:58
	Les feuilles montes	Yves Montand	Yves Montan Gold	4:29
	パリの空の下	ジュリエット・グレコ	L'essentielle	3:17
	What Are You Doing The Rest Of Your Life? (From "The Happy Ending")	ミシェル・ルグラン	The Music of Michel Legrand キングレコード	6:15
	アラベスク	ジャック・ルーシェ・トリ オ	Jacques Loussier Trio Plays Debussy Telarc	6:19